

# 福知山公立大学初級地域公共政策士【2020年度以降入学生】 地域経営人材育成基礎プログラム 募集要項

本学では、地域経営分野でのキャリアアップや再チャレンジを目指す大学生や社会人に対して、本学部の科目を体系的に編成したプログラムを開講しています。「初級地域公共政策士」資格制度と連動させることで、地域を担う市民、そして高度の専門的職業人を養成します（2019年度は本学から1名初級地域公共政策士が誕生し、2020年度は15名資格を取得しました）。

## 初級地域公共政策士とは？

2011年度からスタートした京都発の地域資格です。地域公共政策の担い手に求められる能力を育成するプログラムを履修し、12ポイントを取得すれば、認定機関である（一財）地域公共人材開発機構から職能資格「初級地域公共政策士」が付与されます。本資格プログラムは京都の9大学等（※）で実施されています。

### →→→→ 資格の特徴 ←←←←

1. どのようなプログラムで、どのような能力を得たのかははっきり「見える」。
2. 学問的資格でもあり、職能的資格でもある。
3. 外部の評価機関にプログラムの質保証（社会的認証）を受けている。
4. EUの教育・職能資格で用いられるEQF（※）レベルを参照している。

※European Qualifications Framework の略

詳細は、（一財）地域公共人材開発機構のHP <http://www.colpu.org> をご覧ください。

※ 京都大学、京都府立大学、京都産業大学、京都橘大学、京都文教大学、同志社大学、福知山公立大学、佛教大学、龍谷大学

## 初級地域公共政策士 資格取得までの流れ

初級地域公共政策士プログラム  
（地域経営人材育成基礎プログラム）受講

\* 受講（継続）申込書は毎年教務委員会宛に提出する必要があります。

（一財）地域公共人材開発機構に申請  
（成績証明書 or 履修証明書＋資格認定料）

「初級地域公共政策士」認定

## 《資格取得者の声》

各授業の中で様々な知見を得られましたが、特に印象に残っているのが「地域産業論」や「中小企業論」です。一見「初級地域公共政策士」という名称から、役所等で働くことを想定した資格かと思いますが、地域を支える上では公共機関だけでなく、様々なセクターがその役割を十分に果たすことが重要です。特に、地域に根付いた中小企業の役割は必要不可欠であり、そうした企業の性質について体系的に学ぶことができました。卒業後は、地元の金融機関で働く予定ですが、本資格を取得する上で学んだことを活かして、地域の産業を支える人材になればと思います。

田村 怜也（2019年度卒業生）

※ 資格希望者は、各プログラムを履修した上で「初級地域公共政策士」資格の認定にあたり、資格認定料を（一財）地域公共人材開発機構（COLPU）へ3,240円支払う必要がありますのでご注意ください。

（ただし、本学の学生には、合格者に対する補助があります）

## 初級地域公共政策士 「地域経営人材育成基礎プログラム」(学部レベル/EQF6)

- ① 目的 : 北近畿地域の現状を踏まえたうえで、地域社会の多様な資源に新たな価値や位置づけを見出し、その資源を活用して、地域のさまざまなセクターと連携と協働によって地域社会の活力を創出するための基礎的な能力を育成する。
- ② 育成する人物像 : 北近畿地域において地域社会に関する様々な理論・政策・地域活動を適切に組み合わせて活用することができるグローバル人材
- ③ アウトカム (プログラム修了時に獲得することが期待される能力): 以下のとおり

達成目標	地域社会に関する様々な理論・政策・地域活動を適切に組み合わせて活用することができる (6-0-1)
知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる課題群の相互関係を把握し分析することができる (6-1-3)</li> <li>・地域社会における様々な活動と、活動をに成る主体との関係の実践的把握 (6-1-4)</li> </ul>
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における複雑な課題群について、その解決に必要な要素の特定と解決のためのプログラムの提示及び適用ができる (6-2-1)</li> </ul>
行能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決のために必要な社会的資源を調達することができる (6-3-3)</li> </ul>

### ④ 2022年度 開講科目一覧

下記の中から12ポイントとコミュニケーション演習を履修すること (全て「良」以上が条件)。

	科目名	配当年次	ポイント数	担当者	履修条件
北近畿系	地域資源論	1年次	2ポイント	谷口 知弘	3科目の中から2科目を履修すること
	地域産業論	2年次	2ポイント	佐藤 充	
	地域農業システム論	2年次	2ポイント	軍司 聖詞	
分析系	統計学	1年次	2ポイント	倉本 到	2科目の中から1科目を履修すること
	社会調査論	2年次	2ポイント	佐藤 充	
公共経営系	ソーシャルデザイン	2年次	2ポイント	谷口 知弘	3科目の中から1科目を履修すること
	公共政策論	2年次	2ポイント	杉岡 秀紀	
	観光まちづくり論	2年次	2ポイント	谷口 知弘	
企業経営系	地域ベンチャー育成論	2年次	2ポイント	亀井 省吾	3科目の中から1科目を履修すること
	中小企業論	3年次	2ポイント	佐藤 充	
	財務会計論	2年次	2ポイント	井上 直樹	
地域研究	地域経営研究 I	3年次	2ポイント	全 教 員	1科目履修すること (学生向け必修)
	グローバル特別演習 V	3年次	2ポイント	未定	1科目履修すること (社会人向け必修)
公共マインド	コミュニケーション演習	2年次	1ポイント	未定	必修 (2022年度の開講日は調整中)

《問い合わせ窓口》1号館1階学務担当 もしくは [educational@fukuchiyama.ac.jp](mailto:educational@fukuchiyama.ac.jp) まで